

令和6年度 君津市障害者基幹相談支援センター評価

評価項目	評価視点・内容	評価
1.活動実績	相談件数・困難事例対応・地域移行支援の状況	年間を通じて【3,095】件の相談に対応し、特に複雑・困難案件においては個別支援会議への参加や関係機関連携による支援調整を積極的に行っている。障がい特性に応じた助言提供など、幅広い活動の実績がある。 地域の中核的な相談窓口としての機能を着実に果たしており、関係機関との連携も良好である。 精神科病院等からの地域移行についても、さらなる推進に向けて取り組んでいただきたい。
2.体制整備・専門性	相談員体制・研修・スーパービジョン	地域の相談支援体制の向上に必要な研修を計画的に企画、受講しており、支援の質の向上に努めている。今後も引き続き、人材育成と組織運営の強化を図りながら、さらなるサービス向上を目指していただきたい。
3.地域連携	他機関との連携、協議会・会議体への参画状況	市や障害福祉サービス事業所、医療・教育機関等との連携体制の維持・強化に努めており、地域課題に対する情報共有や会議に積極的に関与し、地域福祉の推進に向けた基盤としての役割を果たしている。
4.今後の課題・展望	対応力の強化、人材育成、業務改善、地域課題への取り組みなど	さらなる関係機関との情報共有や連携体制の強化が期待される。特に医療機関や教育機関との連携については今後の重点課題と考えられる。基幹相談支援センターとして、地域資源の開発や支援者ネットワークの強化にも引き続き取り組んでいただきたい。

総評

地域における中核的な相談支援機関として、安定した運営体制のもと、幅広い相談支援活動を展開しており、関係機関との連携を通じて多様な支援ニーズに対応してきた点が評価される。重層的支援体制においては、基幹相談支援センターが障害福祉分野の専門性を担保できるように実施体制を確保するとともに、医療的ケア児等への支援の重要性が増す現状を踏まえ、新たな課題にも柔軟に対応できる人材育成や効率・効果的な体制整備に取り組んでいただきたい。